
記者提供資料（令和4年10月19日）
港湾局港湾計画課 担当：白波瀬、堀
TEL：078-595-6304 内線 951-5231

神戸港中期計画（案）について意見を募集します

◆神戸港中期計画について◆

神戸市では、2017年（平成29年）、神戸開港150年を迎えた節目の年に、概ね30年先を見据えて今後、神戸港が目指していくべき将来像を示した「神戸港将来構想」を策定しました。

将来構想は、目標年次が概ね30年と長期にわたる構想であることから、近年の社会経済情勢も踏まえつつ、この構想を着実に推進する為、概ね10年間（2030年代前半）に取り組むべき内容や方針を示す中期計画を策定することとしました。この計画について、皆さまからのご意見を募集いたします。

◆意見募集期間◆

令和4年10月20日（木曜）～令和4年11月18日（金曜）※郵送の場合は必着

◆資料の閲覧及び配布◆

神戸市のホームページの意見募集（パブリックコメント）のページに掲載するとともに、受付期間中（土曜、日曜、祝日を除く）、以下の場所で閲覧します。

- (1) 神戸市港湾局港湾計画課（神戸市中央区港島中町4-1-1 ポートアイランドビル7階）
- (2) 市政情報室（神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館18階）
- (3) 各区役所まちづくり課、須磨区役所北須磨支所、西区役所玉津支所

◆意見の提出方法◆

郵送、FAX、電子メール、港湾局港湾計画課への持参（電話は不可）、
神戸市ホームページ（意見募集）上の意見送信フォームによる提出

◆「神戸港中期計画（案）」の概要◆

別紙1のとおり

神戸港中期計画（案）の概要

1. 計画策定の背景と目的

2017年（平成29年）、神戸開港150年を迎えた節目の年に、概ね30年先を見据えて今後、神戸港が目指していくべき将来像を示した「神戸港将来構想」を策定した。

「神戸港中期計画」は、将来構想の目標年次が概ね30年と長期にわたる構想であることから、近年の社会経済情勢も踏まえつつ、この構想を着実に推進する為、概ね10年間（2030年代前半）に取り組むべき内容や方針を示すものである。

2. 目指すべき方向性

神戸港将来構想（2017年）策定以降、新型コロナウイルス感染症拡大により顕在化したサプライチェーンの変容をはじめ、世界的なカーボンニュートラルによる脱炭素化の動き、自然災害の頻発・激甚化など、社会を取り巻く環境が大きく変化しつつある。

神戸港中期計画では、将来構想に掲げる目指すべき姿を見据えつつ、昨今、急速に変化しつづける社会経済情勢の動向を踏まえ、「港湾・産業」「にぎわい・都市」分野ごとの方向性に沿って取り組んでいく。

《「港湾・産業」分野》

『グローバルサプライチェーンの中で、世界から選ばれ続ける総合物流港』

- ・コンテナターミナルの一体利用
- ・多様な海上輸送モードの充実（在来貨物）
- ・倉庫等の物流施設の更新、高度化
- ・カーボンニュートラルポート(CNP)の形成
- ・AIターミナル形成、DXを通じた生産性や労働環境の向上
- ・耐震、高潮・津波対策
- ・神戸港港湾BCPの充実

《「にぎわい・都市」分野》

『非日常の空間を提供し、国内外からの来訪者を魅了するみなと』

- ・都市の魅力を高め交流人口を誘発
- ・海路・空路を活かしたまちづくり・誘客

